



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 ビジネスコーチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9562 URL https://www.businesscoach.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 細川 馨
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 鈴木 孝雄 (TEL) 03(3528)8022
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,163	—	30	—	30	—	14	—
2023年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 9百万円(—%) 2023年9月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	13.40	13.20
2023年9月期第3四半期	—	—

(注) 第1四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	1,306	793	49.6
2023年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 648百万円 2023年9月期 一百万円

(注) 第1四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,656	—	79	—	79	—	53	—	48.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期3Q	1,104,900株	2023年9月期	1,104,900株
2024年9月期3Q	41株	2023年9月期	41株
2024年9月期3Q	1,104,859株	2023年9月期3Q	1,095,009株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(修正再表示)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、金融資本市場の変動の影響やエネルギー価格の高まりを背景とした物価上昇等による生活不安に加え、中国経済の減速懸念等により、引き続き、先行きは不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当企業グループは、人的資本投資の開示や実践に向けて、プライム上場企業を中心に経営戦略と人材戦略を連動させる試みが活発化してきた状況を捉え、人的資本投資の成果を確実にするために個々人の課題に対して個別に支援を行うサービス需要の増加に応じてまいりました。また、当事業年度より株式会社KDテクノロジー株式会社をグループに迎え入れたことで、クライアント企業における無形資産投資の中核である人的資本投資、DX化投資の両側面に加え、間接材のコスト削減コンサルティングによる付加価値向上を支援し、取引先のサステナビリティを高めるサービス展開を進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,163,429千円、営業利益は30,047千円、経常利益は30,103千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,802千円となりました。なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当社グループの報告セグメントは、従来「人材開発事業」のみの単一セグメントでありましたが、第1四半期連結会計期間より、KDテクノロジー株式会社の50.2%の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、単一セグメントから、人材開発事業及びSX*i*（サステナビリティ・トランスフォーメーション）事業の2区分に変更しました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

①人材開発事業

人材開発事業では、アカウントマネジメントを強化するために、コーポレートコーチ職の採用と育成を進め、大型契約に繋げる取り組みと、エグゼクティブコーチ本部新設によるエグゼクティブコーチングサービスの高度化を進めております。特に、1対1型サービスについては、企業の「個」を重視した育成施策拡大による追い風を受け、大企業を中心としたクライアント数は682名となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は321,042千円となりました。1対*n*型サービスについては、顧客の固有の人材及び組織課題に解決するためのカスタマイズプログラムの需要が高まったことに加え、昨年度から取り組みを進めていた動画関連の新サービス販売等が進捗し、当第3四半期連結累計期間の売上高は487,833千円となりました。その他サービスについては、顧客の人材及び組織課題の把握ニーズが高まり、組織アセスメントツールの売上が増加したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は111,881千円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の人材開発事業における売上高は920,758千円(前年同期比9.7%)、セグメント利益は141,949千円となりました。このうち、法人取引における顧客数は277社、法人顧客一社当たりの平均売上高は3,218千円であります。

②SX*i*（サステナビリティ・トランスフォーメーション）事業

SX*i*事業においては、購買活動の行動変容を通じてコストダウンに寄与するコスト削減コンサルティングサービスと、顧客のDX化推進を後押しするコンサルティング業務や開発業務を中心としたITサービスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間において、コスト削減コンサルティング事業において、大型固定報酬型プロジェクトが予定通り進捗するとともに、成功報酬型案件のクロージングが進み、計画通りの進捗となりました。ITサービス事業においても、引き続きクライアント企業のDX推進ニーズが高く、計画通りに進捗しました。コスト削減コンサルティングサービスにおいては、売上高は124,778千円、ITサービスにおいては、売上高は125,944千円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のSX*i*事業における売上高は250,722千円となりましたが、顧客関連資産及びのれんの償却費、並びに、子会社株式取得費用等を合計で53,746千円負担した結果、セグメント利益は△40,507千円となりました。

また、生産実績、受注実績、販売実績に関する情報は、次のとおりであります。

a. 生産実績

セグメントの名称	生産高(千円)
人材開発事業	284,516
SXi事業	170,596
合計	455,112

(注) 1. 金額は、製造原価によっております。

b. 受注実績

セグメントの名称	受注高(千円)	受注残高(千円)
人材開発事業	1,054,281	818,731
SXi事業	334,331	129,301
合計	1,388,613	948,033

c. 販売実績

セグメントの名称	販売高(千円)
人材開発事業	920,758
SXi事業	250,722
合計	1,171,480

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、694,481千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が425,682千円、売掛金及び契約資産が221,067千円となっております。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、612,185千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が29,871千円、無形固定資産（ソフトウェア）が46,379千円、無形固定資産（のれん）が83,802千円、無形固定資産（顧客関連資産）が259,000千円、敷金が47,310千円、繰延税金資産が6,279千円、その他が139,482千円となっております。

(繰延資産)

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産は、237千円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、314,369千円となりました。主な内訳は、買掛金が32,190千円、1年内返済予定の長期借入金が32,846千円、未払法人税等が22,674千円、契約負債が71,502千円、賞与引当金が10,616千円、1年内返済予定の社債が10,000千円、その他流動負債が134,538千円となっております。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、198,849千円となりました。主な内訳は、長期借入金が8,342千円、役員退職慰労引当金が88,421千円、繰延税金負債が102,086千円となっております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、793,685千円となりました。主な内訳は、資本金が208,205千円、資本剰余金が165,805千円、利益剰余金が274,195千円、自己株式が△72千円、非支配株主持分が145,551千円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期通期業績予想に関しては、2024年4月30日公表の数値に変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	425,682
売掛金及び契約資産	221,067
仕掛品	5,435
貯蔵品	76
その他	42,219
流動資産合計	694,481
固定資産	
有形固定資産	
建物	21,929
減価償却累計額	△1,746
建物（純額）	20,182
工具・器具及び備品	16,310
減価償却累計額	△6,622
工具・器具及び備品（純額）	9,688
有形固定資産合計	29,871
無形固定資産	
ソフトウェア	46,379
のれん	83,802
顧客関連資産	259,000
無形固定資産合計	389,182
投資その他の資産	
出資金	60
敷金	47,310
繰延税金資産	6,279
その他	139,482
投資その他の資産合計	193,132
固定資産合計	612,185
繰延資産	
社債発行費	237
繰延資産合計	237
資産合計	1,306,904

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	32,190
1年内償還予定の社債	10,000
1年内返済予定の長期借入金	32,846
未払法人税等	22,674
契約負債	71,502
賞与引当金	10,616
その他	134,538
流動負債合計	314,369
固定負債	
長期借入金	8,342
役員退職慰労引当金	88,421
繰延税金負債	102,086
固定負債合計	198,849
負債合計	513,218
純資産の部	
株主資本	
資本金	208,205
資本剰余金	165,805
利益剰余金	274,195
自己株式	△72
株主資本合計	648,133
非支配株主持分	145,551
純資産合計	793,685
負債純資産合計	1,306,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,163,429
売上原価	449,593
売上総利益	713,835
販売費及び一般管理費	683,788
営業利益	30,047
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	293
保険解約返戻金	328
その他	553
営業外収益合計	1,178
営業外費用	
支払利息	663
社債利息	16
社債発行費償却	436
その他	6
営業外費用合計	1,122
経常利益	30,103
税金等調整前四半期純利益	30,103
法人税、住民税及び事業税	33,802
法人税等調整額	△12,817
法人税等合計	20,984
四半期純利益	9,118
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,683
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,802

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	9,118
四半期包括利益	9,118
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	14,802
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,683

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	人材開発事業	SXi事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	918,508	244,921	1,163,429	—	1,163,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,250	5,801	8,051	△8,051	—
計	920,758	250,722	1,171,480	△8,051	1,163,429
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	141,949	△40,507	101,442	△71,394	30,047

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△71,394千円は、内部取引消去額471千円、各報告セグメントに配分していない全社費用70,923千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

KDテクノロジーズ株式会社の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、SXi事業セグメントの資産が合計で644,611千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

KDテクノロジーズ株式会社の株式を取得したことにより、SXi事業セグメントを連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては83,802千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの事業は、人材開発事業の単一事業であり、単一セグメントとしてセグメント情報の記載を省略しておりましたが、KDテクノロジー株式会社の株式を取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことにより、当社グループの報告セグメントを人材開発事業及びSXi事業の2つに区分することとしました。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	
減価償却費	51,299千円
のれんの償却費	14,788 〃

(収益認識関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		計
	人材開発事業	SXi事業	
一時点で移転される財及びサービス	851,752	9,473	861,225
一定の期間にわたり移転される財及びサービス	66,755	235,448	302,203
顧客との契約から生じる収益	918,508	244,921	1,163,429
その他の収益	—	—	—
合計	918,508	244,921	1,163,429

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。